

# じどうとしよしつだより

えほん No. 104(2018. 7)

よんでみませんか 児童図書室がえらんだ本

## チトくんとにぎやかないちば

アティヌーケ 文 アンジェラ・ブルックスバンク 絵  
さくま ゆみこ 訳 徳間書店 2018.3 (資料ID:1111496490)

おかあさんに背負われて市場に買い物に来たチト。きょろきょろしていると、バナナ売りさんが、バナナを6本くれました。チトは1本だけ食べて、残りはおかあさんの頭の上のかごに、ぽいっ。おかあさんは、買い物に夢中でちっとも気づきません…。カラフルな色使いの服、人びとのいきいきした表情から、西アフリカの市場のにぎやかで楽しい様子が伝わってきます。

## かべのおこうになにかがある？

ブリッタ・テッケントラップ 作 風木 一人 訳  
BL 出版 2018.3 (資料ID: 1111493873)

大きな赤い壁がありました。壁の内側には、動物たちがすんでいました。知りたがりの小さなねずみは、この壁の向こうに何があるのか気になって、みんなに聞いて回ります。しかし、誰も、壁のことを気にするものはいません。ある日、壁の上から、空色の鳥が飛んできました。どこから飛んできたのかたずねると、「壁の向こうの世界から」。ねずみは鳥とともに、壁の外の世界へ一歩を踏み出すのでした。

## とってもなまえのおおいネコ

ケイティ・ハーネット 作 松川 真弓 やく  
評論社 2018.4 (資料ID: 1111510221)

はなさき通りのネコは、毎日とても忙しくしていました。3番地の家で朝ごはんを食べ、9番地でお茶を飲み、6番地ではダンスの相手。しかも、みんな好きかってな名前だよ。でも、一軒だけネコが入ったことのない家がありました。11番地のその家には、おばあさんが一人ですんでいて…。ネコを通して、人とのつながりができて、温かい気持ちになれる絵本です。

## ぎゅっ

ミフサマ さく・え  
BL 出版 2017.12  
(資料ID:1111480150)

## あのくもなあに？

富安 陽子 ぶん  
山村 浩二 え  
福音館書店 2018.5  
(資料ID:1111513303)

## ちっちゃいおおきいおんなのこ

クレア・キーン さく  
なががわ ちひろ やく  
ほるぶ出版 2018.4  
(資料ID:1111510240)

## ネルはいぬのめいたんてい

ジュリア・ドナルドソン ぶん  
サラ・オギルヴィー え  
福本 友美子 やく  
BL 出版 2018.2  
(資料ID:1111484865)

## スムート かたやぶりなかけのおはなし

ミシェル・クエヴァス 文 シドニー・スミス 絵  
いわじょう よしひと 訳 BL 出版 2018.5 (資料ID: 1111512647)

スムートは男の子のかけ。男の子とは、はなれられなくていつも一緒。男の子はあんまり笑わないし、ちょっとしたいたずらもしません。だからスムートもできなくて、7年半ずっと退屈していました。ところがある日、スムートは男の子から離れることができたのです！ やりたいことをいろいろやって、元気に走りまわるスムート。他のかけたちもまねをして、やりたいうまいはじめたから、さあ大変。

## いたずらトルロと音楽隊

アニタ・ローベル さく 安藤 紀子 やく  
ロクリン社 2018.4  
(資料ID: 1111504912)

旅まわりの5人組の音楽隊が、森で眠っていると、トルロがとおりかかりました。演奏をきかせてほしいトルロは、5人を起こそうとしますが、満足な演奏が聞けません。怒ったトルロは、楽器に魔法をかけてしまいます。それ以来、楽器からはおかしな音しか出ないようになってしまいました。魔法をといてもらうにはどうしたらいいのか、5人は、あることを思いつきます。

## 炎をきりさく風になって

フランシス・ポレットティ 作 クリステイーナ・イー 作  
スザンナ・チャップマン 絵 渋谷 弘子 訳  
汐文社 2018.2 (資料ID:1111491190)

走ることが大好きだったボビーは、大人になってボストンマラソンを見に行き、自分も走りたいと思いました。女らしくないと両親に反対されながらも、ボストンマラソンに申込み、練習を開始。ところが、女性はマラソンを走ることはできないと、参加を認められませんでした。あきらめられないボビーは、変装し、男性にまじって走ることにしました。まわりの男性ランナーの声を受けて、ボビーは途中から変装をやめて、女性の姿で走ります。はたして、ボビーは、完走できるのでしょうか…。

